

TM ニュース

TM ミーティング参加生徒用情報 5号 2016. 12. 16

およぶ資料をご用意
くださり、医学部受
験の状況について詳
しくお話してくださ
いました。



宮辺校舎長のご講演→

第 1 回研究発表会開催

12月10日(土)午後1時30分から、本校講堂で、第1回研究発表会が開催されました。3つのゼミの代表9名が発表を行ってくれました。

代表生徒達は、研究テーマの設定理由から話を始め、調査結果をプレゼンテーションソフトを利用して、TM生徒、一般生徒(学習院女子中高生を含む)、保護者、来賓の前で、わかりやすく報告をしました。

最後に、東京女子医科大学遺伝子医療センターの松尾 真理先生から、『自分自身の好奇心をもとに研究し、解決する取り組みはすばらしかった。研究テーマに多様性があり、その多様性への取り組みを、みなさんが認めあい尊重している姿勢も大変よかった。この発表会の経験を来年の糧にして改善することで、さらに楽しい取り組みになります。』とのご講評をいただきました。



発表中の様子



松尾先生からのご講評

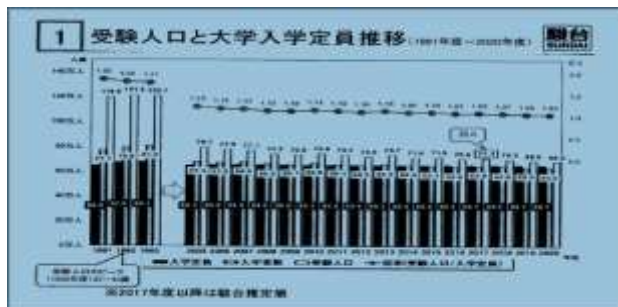


発表会に参加したTM生徒達

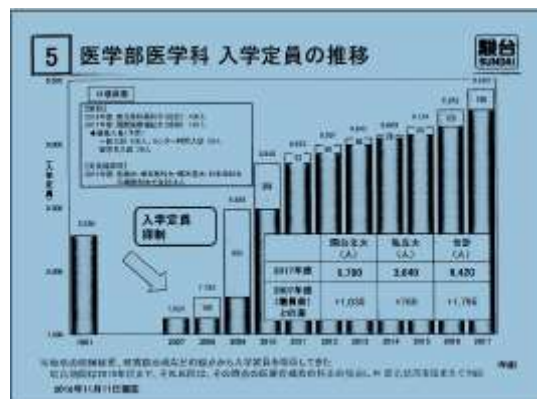
12月6日(火) TMミーティングについて

駿台予備校お茶の水8号館 医歯薬専門校舎長兼特別指導コース校舎長の宮辺正大氏から、24ページにも

はじめに、少子化によって大学受験生が120万人の時代(1.8倍:受験者に対する大学入学者定員の関係)から現在の70万人(限りなく1倍<1.08倍>)を切るような状況になっていること。選びさえしなければどこかの大学に入学できる時代になっている。



医学部を見ると、今年の高校3年生に関しては、昨年度に比較して人気下がっている。かつ、医学部医学科の定員が新規大学医学部の開設もあり、9420人と過去最高の入学者定員となり、入学しやすい環境にあるという情報が提示されました。

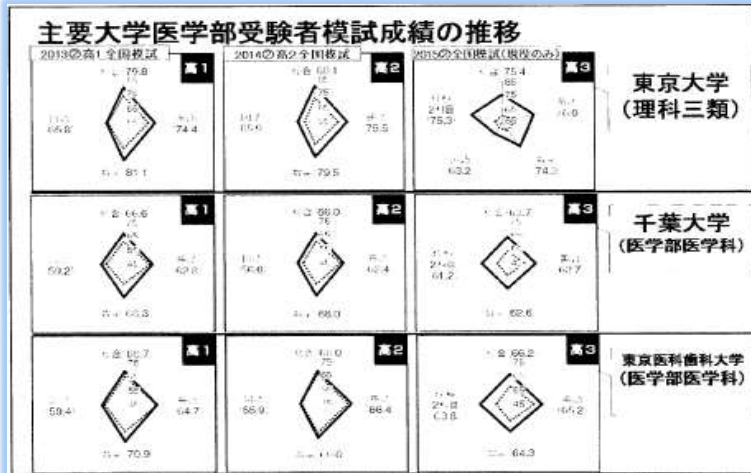


一方で入試そのものの難しさには変化がない。首都圏の医学部医科では、センター試験90%、関東以遠の他県でも85%前後の得点は最低必要とのことでした。大学によっては、センターの得点如何によって、2次試験に進めなくなる事例も紹介してくれました。センター試験で1点でも獲得する必要があり、**日々の学校の学習をしっかりと行うことを強調されていました。**

医学部医学科の入試は、試験科目が変更になった場合など、その変更によっては受験者が集まったり、不人気になったりする。入試の変更はチェックをすること。また、後期受験校について、センターの結果を見て考える

方法もあるとのことでした。

また、医学部医学科の合格者と不合格者の高校1年から高校3年生まで主要大学医学部医学科のレーダーチャートを示してくださいました。今の偏差値をレーダーチャートに落とし込みながら自分の位置を知ることの重要性和、**高校1年2年までの合格者と不合格者の偏差値の差は少ないが、高校3年生で大きく差がでてくる。**これは、医学部医学科については、**いつから受験の覚悟を決めてスタートするか**（遅くとも高校2年の冬）と、**日々のコツコツとした学習の積み重ね**が、高校3年での差になってくるとお話されていました。



TM生は、かなり早い段階から学習へのスタートを切っています。スタート時期は問題がないと思います。あとは、毎日の学習をきちっと積み重ねている生徒が最後は夢をつかむということになります。**日々180分の学習はなぜ必要なのか、再確認をしましょう。**

● 最後までやりきった生徒の事例（多数紹介）

1 東京医科歯科大・医(医) <前期> 志望者 成績例

《2016年度受験結果》

入学 東京医科歯科大・医(医)<前期>
未受験 千葉大・医(医)<後期>

高3の第1回全国模試(5月)成績返却後、進路アドバイザーとの面談では、「医学部現役合格は難しいかもしれない」と弱気になっていた。どうしても東京医科歯科大に入学したいという強い気持ちから、部活動が終了した6月以降、万端なく全教科の学習を進め、第2回全国模試(9月)では英語・理科において結果に結び付けることができた。最後まで2次試験における数学への不安感が強く、センター試験後の出願面談でも受験への迷いがあったが、東京医科歯科大へ出願し、見事に合格することができた。第一志望は、ゆずれない。(本人談)

日程	記述型(偏差値)	英語	数学	化学	生物	総合(英数理2)	第一志望判定
5月 第1回全国		49.8	56.1	56.1	49.0	53.9	E
9月 第2回全国		61.3	58.1	61.2	63.1	63.3	D
12月 第3回全国		61.2	54.7	56.3	59.2	59.4	E

日程	マーク型(満点)	英語	リスニング	数学I	数学II	国語	化学	生物	世界史B	合計(500満点)	得点率	第一志望判定
7月 全国マーク	156	36	89	73	123	71	77	58	646	71.8%	D	
9月 第1回Bマーク	182	42	85	95	135	82	74	48	698	77.6%	D	
12月 センタープレ	192	44	94	85	150	83	84	73	758	84.2%	D	
1月 16-17日 センター試験	175	40	91	98	179	77	85	94	796	88.4%	C	

※合計点は「英語」リスニングの合計250点満点を200点満点に換算

駿台予備学校

* 駿台予備校からいただいたデータを見てみよう！

小論文講座3 (国語科 横堀先生)

前号で誰に対して何を書くのか意識せよという話をしました。ではどうやって書いたらいいのでしょうか。「書きたいことなんてないんだけど」。確かに普段考えたこともない話題について「何かを書け」と言われたって困ります。仕方がありません、ひねり出しましょう。でもどうやって？

一つの有効な方法がマッピング法です。与えられた課題からできるだけ色々なことを連想していくのです。前回話題にした「花」でやってみましょう。

A、課題について連想

「花」→「桜」→「卒業式」→「春」→「季語」→「季節感」→「旬」

次にそのでたらめに思い浮かべたものから更に別の事項を連想していきます。少々外れたっていい、突飛な発想も含めて色々な事柄をあげてみましょう。

B、連想したものと対照的な事項をあげる

次に、大切なコツを伝授します。連想した事項を眺めて、それと対照的な語、あるいは反対語を考えてみるのです。

「造花」→「梅」→「入学式」→「冬」→「無季」→「季節がない」→「一年中」

最後にもう一つのコツ、時事的な問題を思い浮かべるのです。あげた事項との関連を考えながら。「野菜高騰」「旬の野菜」「コンビニ」「食糧問題」「TPP」etc

C、三つの柱で構成を考える

そしてこうした連想の中でおよそ三つの柱をたてるのです。

- ① 花は季節の象徴。日本には四季がある。旬などもあって日本はよい。(序論)
- ② 一年中スーパーで見かける野菜がある。野菜の高騰にも輸入で対応できる。便利だがそれでいいのか？(基本的に反①という内容、本論)
- ③ 今の生活を簡単に変えることはできないが季節を意識した生活も大事にしたい。(結論)

書く時間や字数によっても違いはありますが、型に従って書く場合には有効な手立てです。小論文模試などで活用してみてください。

●今後の日程

1月21日(土) 東京医科歯科大学 磯部光章 教授 医学講演会が予定されています。S46卒(1971年)の先輩です。(校内)

2月4日(土) チームワーク形成研修(校内)

3月14日(火) 東京都立北特別支援学校 東京大学医学部附属病院内 こだま分教室訪問予定(校外)